労基署調査の介護施設など

69%が法令違反

労働時間や深夜手当不備

県内昨年

県内の労働基準監督署が昨年立ち入り調査した病院や介護施設など保健衛生業者103件のうち、69・9%に当たる72件で、労働時間や割増賃金などについて法令違反を指摘されていたことが、宮崎労働局のまとめで分かった。30件以上の調査を行った8業種の中では違反率が最も高い。同労働局は「24時間態勢で、勤務時間を把握しきれていない事業所もある」と指摘している。

県内4労基署は昨年、1381件の立ち入り調査を実施。このうち、56・5%に当たる780件で労働基準法など労働関連の法令違反を指摘した。8業種のうち違反率が高かったのは保健衛生業のほか、製造業（69・3%）、接客娯楽業（65・7%）など。

保健衛生業への立ち入り検査103件の中では、深夜手当の不備など割増賃金の違反が30・1%（31件）と最多。法定労働時間を超えて働かせるなど労働時間についての違反も26・2%（27件）に及んだ。

同労働局監督課の上崎勝・主任監察監督官は「交代制の勤務で、引き継ぎ後の残業などが把握できていないケースもある。説明会や事業所に出向いての指導を計画的に行い、労基法や労務管理の周知を徹底していく」と話した。

同労働局などによると、保健衛生業に携わる人から県内各労基署への相談は昨年、全業種中最多の1398件だった。「夜勤の人数が少なく休憩が取れない」「事業所が小規模で年休取得が難しい」などの相談が寄せられた。

アユ「冷水病」 菌で抑制

宮崎大名誉教授ら確認

安全面アピールへ 県産ブランド化期待

ミツバチの伝染病予防に用いる善玉菌を使って、アユの冷水病を抑制できることが、宮崎大の前田昌調名誉教授（微生物学）が養殖会社「あゆの是則」（日向市、是則由眞社長）と共同で取り組んだ初の実用化実験で確認された。冷水病は抜本的な予防策がなく、県内外の各養殖場では毎年数十%のアユの廃棄処分を余儀なくされている。本格的な養殖アユの出荷シーズンを迎え、是則社長は「薬を使わずに抑制できることで安全面をアピールできる」と手応えを深めている。

効果が認められたのは、前田名誉教授が2007年ごろに小林市の湧き水から発見したシュウドモナス菌MS－1株。昨年12月以降、同社の養殖アユ約50万匹に、餌1㌔当たり50ccの生菌を混ぜて月4日のペースで与えたところ、例年4～5月に発生する冷水病が今年は一匹も確認されなかった。遺伝子検査でも異常はみられなかった。

シュウドモナス菌については、前田名誉教授と県水産試験場、岐阜県河川環境研究所が04年から冷水病の原因菌に対する抑制効果を研究。07年までには本県と岐阜県で効果が実証されていた。

前田名誉教授によると、放流した養殖稚魚から天然アユへの冷水病伝染も指摘されており、天然アユ減少で、冷水病にかかることなく順調に育った養殖アユ＝24日午前、県庁

前田名誉教授は民間企業と連携し、凍結した生菌を年内にも商品化したい考えで「耐病性を獲得した稚魚を川に放流すれば、アユの資源量回復につながることも期待できる」と見込む。

ズーム

冷水病　アユやサケ科の魚が病原菌に感染することで発症。表皮がただれたり、潰瘍ができたりして死ぬ。毎年全国のアユ養殖場の大半で発生し、自然界でも確認されている。本県では1990年代後半から流行し始めた。15～20度の低水温で発生することから「冷水病」と呼ばれるが、近年は25度付近でも感染が広がるケースが報告されている。

20年五輪招致

東京 最終選考入り

都知事「戦いこれから」

ケベック（カナダ）共同】国際オリンピック委員会（IOC）は23日（日本時間24日）、カナダのケベックで開いた理事会で2020年夏季五輪招致の書類による第1次選考を行い、1964年以来の五輪開催を目指して再挑戦した東京、マドリード、イスタンブール（トルコ）の3都市が最終選考に進んだ。今後IOCによる現地調査などを経て、開催都市は来年9月7日に決定する。（5面に関連記事）

2020年五輪招致3都市の地元開催支持率

	独自調査		IOC調査
	都市	全国	
東京	65%	66%	47%
マドリード	75%	84%	78%
イスタンブール	87%	83%	73%

ドーハ（カタール）とバクー（アゼルバイジャン）は落選した。

東京都の石原慎太郎知事は都庁で記者会見し「予測通りの結果が出た。本当の激しい戦いはこれからだ」と述べた。

IOCは第1次選考のために作成した各都市の報告書を公表。東京は中央区晴海に予定する選手村から半径8㌔圏内にほとんどの会場を配置したコンパクトな計画や豊富な宿泊施設が高く評価された。一方で東日本大震災後の原発停止で電力供給に不安が生じ、東北で放射線量が基準値を上回る地域があることも指摘された。IOCの調査で開催支持率が47%と低く、市民の理解を得る必要性にも言及された。

招致委員会の竹田恒和理事長は「指摘された点を改善したい。支持率は伸ばせるようにさまざまな努力をしたい。（原発関連は）説明しながらだいたい」と考えを示した。

元徴用工訴訟

賠償請求権は有効

韓国最高裁 審理差し戻し

【ソウル共同】日本の植民地時代に強制連行された元徴用工の韓国人ら9人が三菱重工業と新日本製鉄に損害賠償などを求めた訴訟の上告審判決で、韓国最高裁は24日、控訴を棄却した二審判決を破棄、審理を釜山高裁とソウル高裁にそれぞれ差し戻した。判決は1965年の日韓請求権協定では個人の請求権は消滅しておらず有効だとの初判断を示しており、原告敗訴が一転見直される公算が大きい。

日本政府は同協定により個人請求権は消滅したとの立場。しかし判決は、日本政府が植民地支配の違法性を認めない状態で同協定が締結されたと指摘。個人請求権の消滅について日韓両国の意思が一致していたとみる十分な根拠がないとした。

最高裁が請求権を認めたことで、今後、同様の訴訟が韓国内で相次ぐ可能性があり、日韓間の懸案として浮上しそうだ。

韓国メディアによると、原告勝訴の判決が出て確定した場合、被告企業側の韓国内の財産が差し押さえられるといい、日本企業の対韓国投資への影響も懸念される。

三菱重工業と新日本製鉄は「判決文を確認できていないので、コメントは差し控えたい」などとしている。

ホンベルタ橘 夏の節電

13年ぶり全館休業

13年ぶりに全館休業したボンベルタ橘の入り口に張られたポスターに目を留める市民＝24日午後、宮崎市橘通西3丁目

夏の電力不足を見越し宮崎市のボンベルタ橘は24日、13年ぶりの全館休業に踏み切った。入り口には休業を知らせるポスターが張られ、残念そうに引き返す買い物客も見られた。

同店によると、11月にも休業を予定しており、2日目の計の節電効果は約5万3千㌔㍗時になる見込み。一般家庭1世帯の使用電力15年分に相当するという。

買い物に訪れた高鍋町南高鍋の学生小嶋綾桜さん(17)は「休みでびっくりした。節電対策は重要だが、事前にしっかり告知をしてほしかった」と肩を落としていた。宮崎市

劇団四季「赤毛のアン」

8月6日 宮崎市民文化ホール

劇団四季のミュージカル「赤毛のアン」を開催します。空想力と愛情にあふれた少女「アン・シャーリー」の物語で、演出は浅利慶太氏。カナダで最も小さい州、プリンス・エドワード島の小村エヴォンリーが舞台。心躍るメロディーやダイナミックなダンスで見る人の心をひきつけます。この機会にぜひご鑑賞ください。

5月26日（土）から一般発売。3歳以上有料、3歳未満の入場はできません。

【日時】8月6日(月)午後6時開場、同6時半開演

【会場】宮崎市民文化ホール（宮崎市花山手東3丁目85(31)3321）

【料金】S席8千円、A席6千円、B席4千円

【一般発売】5月26日(土)午前10時から。ローソンチケット(Lコード86475)▽チケットぴあ／セブンイレブン419－8889▽宮崎市民文化ホール（書面の不交換）

【問い合わせ】演事務局☎0570－06－6619（平日午前10時～午後5時）

【主催】宮崎放送、MRT宮崎放送

逮捕

県警生活安全部署は24日、特定商取引法違反（不実告知）の疑いで、宮崎市清武町船引の無職男性（59）を逮捕した。

逮捕容疑は、4月上旬ごろ、西諸県郡高原町の70代女性宅を訪れ、一部白骨化した目立った外傷のない男性の遺体について「事件性、事故性はない」などと虚偽の説明をし、火葬許可証の発行を受けるなどした疑い。

宮崎南署は24日、身元不明の女性の大淀川で23日午前6時45分ごろ、倉山瀬の境公園の茂みにうつぶせで倒れた男性の遺体が見つかったため近くの交番に届け出た近所の男性（51）＝日南署によると、男性は大阪市城東区の石垣吉さん（23）＝市に住む60代とみられる。

▼日南市で

▼身元不明

▼特定商取

6～8月の平年並み
九州北部地方
鹿児島地方
本県を含む九州～8月の3カ月均気温は平年並み見込み。
【6月】平年並や雨の日が多く並み。
【7月】節多く、後半は見込み。気温【8月】晴気温は平年並